

平成29年度 学年 [高1選択音楽者] 教科 [音楽Ⅰ]

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
音楽Ⅰ	1	文理・生命科学	ABCD	本田
目 標	① 幅広い音楽活動を通じて、芸術音楽の美しさを感じ取ること。 ② 視唱力、視奏力を磨き、曲想をとらえた表現力を身につけること。 ③ 音楽の組み立て方を学び、創作活動に生かすこと。 ④ 日本の伝統音楽やクラシック音楽を鑑賞し、その特徴をまとめること。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	芸術音楽を聴いたり、演奏したりすることを楽しむ心	曲の構成や歌詞の内容をふまえた表現力	声や楽器の特性を理解し、曲想を豊かに表現出来る技能	楽曲の歴史的背景を理解した上で、鑑賞する力

学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	期末	<発声基本練習> 発声の練習 <楽典の学習> 音階と音名、音程、音楽用語	*響きの良い発声法を身につけ、ハーモニー感のある歌い方を工夫します。 *腹式呼吸に取り組みます。 *中学校で学んだ楽典の知識を復習し、さらに内容を深めます。
		<歌唱教材> 「野ばら」「Ave Maria」 「校歌」「聖歌」 「サザエさん」「花」 <鑑賞教材> シューベルトの作品	*ドイツ語の発音や、曲想に合わせた表現方法を工夫し、原語での独唱に取り組みます。 *音の響きや日本語の歌詞を大切に、表現やアレンジの特徴などについて学びます。 *シューベルトの音楽とその生涯について、まとめます。
二学期	授業中の発表	<創作活動> オルゴール曲の分析 コード・ネームの理解 オルゴール曲への編曲 オルゴール曲の作曲	*オルゴール音楽の特徴について分析します。 *「コード・ネーム」について学び、旋律に合う和音を工夫します。 *楽曲をオルゴール曲に編曲し、時間があれば作曲活動にも挑戦する予定です。 *発表を互いに評価し、内容を深めます。
三学期	授業中に実施	<鑑賞教材> 箏曲「六段の調べ」 三味線・箏について <箏曲実技実習> 「六段の調べ」	*日本音楽について理解を深め、箏の実習の事前準備をします。 *ゲストティーチャーの箏曲指導を通じて、箏の基本的な演奏方法を学びます。
		<ソルフェージュ> リズム譜や視唱課題実習	*リズム打ちやメロディー視唱について実習します。
評価の方法	定期テスト、実技テスト、作品発表、授業の取り組み、レポート等で評価します。		
学習活動の特徴	表現、鑑賞の音楽活動を中心に授業を進めます。		
授業の形態	音楽選択者による一斉授業、グループ練習、実技実習		
使用教科書	MOUSA1（教育芸術社）		
使用副教材	賛歌		
用意するもの	教科書、プリント、副教材		
備考	特になし		